



▲木製の枠に収められた認証書



▲認証書を手渡した土屋理事長(右)

人と自然との共生への取り組みが評価

「ネイチャーポジティブ自治体認証」を取得

只見町の取り組みと評価ポイント

只見町は、ユネスコエコパークの町として豪雪に育まれた豊かな自然とそれをよりどころとする人の生活文化があります。

そして、ユネスコエコパークの枠組みを利用した人と自然との共生を図る町づくりを推進し、「只見町の野生動物植物を保護する条例」、「自然首都・只見」学術調査助成金事業、「地域ワールドを活かしたESD」、「自然首都・只見」伝承産品、「薪エネルギー推進事業」など様々な取り組みを行ってきました。

今回、只見町ブナセンターを中心に地域の自然環境の保全活用様々な取組や、自然・文化を活かしたESD（持続可能な開発のための教育）を推進していること、独自の学術調査研究助成制度を通じて地域の価値向上と交流人口増加を両立させて

いることなどが高く評価されました。

ネイチャーポジティブ自治体認証とは？

ネイチャーポジティブ自治体認証は、市町村が地域の生物多様性の重要性を認識し、保全と再生に向けた計画を策定・実行していることをNACSJが認証する制度です。認証には4つの基準が設けられています。

1. 首長によるネイチャーポジティブ宣言
2. 生物多様性保全上の重要地域と課題の特定
3. 保全と再生を実効的かつ持続的に行う計画の策定
4. 土地利用の改善、生態系サービス発揮、教育・人材育成などの増加が見込まれる取り組み

只見町は、これら全ての基準を満たしました。

只見町は公益財団法人日本自然保護協会（NACSJ）から「ネイチャーポジティブ自治体認証」を受け、その授与式が4月24日に行われました。

この認証は、地域の生物多様性保全と自然回復を推進する自治体に与えられるもので、町はこれまでの取り組みが高く評価され、認証取得に至りました。

式では、NACSJの土屋俊幸理事長から渡部町長に認証書が手渡されました。

認証書を受け取った渡部町長は「只見町の自然と生活文化は、地域全体の財産であり、未来に向けた誇り。これらを守り、持続可能な形で活用することで地域の発展を目指す」と話しました。

この認証取得は、10周年を迎えた只見ユネスコエコパークの地域の自然と共生する取り組みを加速させるものとなります。